

明るく元気の出る町

平成12年1月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがゆり

HIGASHIYURI

東由利町

2000

1

NO.538

あけましておめでとぅございます

私たち、辰年。
今年一年がんばります！



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」



課題に挑戦の年



阿部幸悦町長 新春の御挨拶

賞の副賞として頂戴した五百本の桜の苗木を、寺田知事さんをはじめ大勢のご来賓に植樹して戴きました。内百本は黄桜の苗木でありました。これから毎年、桜の季節が楽しみなことでもあります。

平成十二年庚辰、西暦二〇〇〇年、新年明けましておめでとうございませう。東由利町にとっても町民皆様におかれましては幸多き佳い年になりますよう、心からご祈念申し上げます。

九九から〇〇にコンピュータの数字が替わるとき、スムーズな転換ができるのかなどの二〇〇〇年問題が心配されましたが、まずは大きなトラブルもなく新年を迎えることができました。

今年には二十世紀の締めくくりの年になります。記憶に残るいい一年になって欲しいものと強く願っております。

昨年はいろいろな意味で記憶に残る年でありました。五月には、八塩いこいの森を会場に、第五十回秋田県植樹祭が開催されました。一昨年、町が日本桜の会から功労

十七日間も続き、観測史上二番目という記録になりました。にもかかわらず、干ばつで大騒ぎということにはなりません。『ボツメキの水』がわが町の自然の恵の素晴らしさを私たちに再確認させてくれました。

当然、出来秋を期待したことです。十分な夏の暑さを乗り切ったわが町の『あきたこまち』は、全国的な作況指数の状況からしても熱い期待に応えてくれるものと信じたところでした。しかし結果は、高温のため異常発生したカメムシの恐ろしさを知らされることになってしまいました。

一等米比率が二七％という、これまで経験したことのない厳しい状況でした。農家の皆さんが本当にがっかりされたことでした。収量と違い品質については農業共済

組合も補償の対象外ということで、大変心配したところでありました。大変遺憾なことではございましたが、東光苑の不祥事もありました。これまで老人福祉の現場として誇れる施設運営をしていると申し上げてまいりましたが、予期もしないこんな不祥事が発生してしまい、お詫びの申し上げようもありません。大変な額ではありましたが暮れには大方の弁済の手続きを終えたところであります。

再びこうした事態が起きないよう、体制も検証もしっかりと信頼の回復に努めていかなければと、決意を新たにしたいところであります。

今年四月から介護保険も始まりますが、東光苑はその重要な拠点のひとつでもあります。その役割を十分に果たして行くためにも心構えを新たに、再出発する年にして参りたいと存じます。ますますのご支援を心からお願い申し上げます。

八塩いこいの森のオートキャンプ場もオープンできることになりました。農産物加工所も稼働できる年になります。今年も沢山の課題に懸命に挑戦できる年にして行きたく思います。皆様にとっても健康でよりよい年になりますように心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつと致します。

今年は何年

十二支の五番目の干支である辰へたつは、十二支中、ただ一つの空想上の動物です。一般的には「竜」と書き、「タツ」または「リュウ」と呼ばれています。竜の伝説は世界各地に分布しており、さまざまな形で伝えられています。

その姿は、おおむねヘビやトカゲのような体に、角をもった猛禽類か猛獣の頭、それに翼を組み合わせた形で描かれています。英語やフランス語ではドラゴンと呼ばれる竜。ヨーロッパの神話では、暗黒の化身のように扱われ、英雄や神々に征伐される話が残っています。

中国では竜は麒麟、鳳凰、亀とともに四霊と呼ばれています。竜は淵にすむ神秘的な動物で、水や雨に関係するとされています。

日本では竜は神聖化されており古代神話にも竜が登場しています。「古事記」と「日本書紀」には、トヨタマヒメの産屋での変身をヒコホホデミノミコトが見るくだりがあります。古事記では八尋のワニになつたとあり、日本書紀には「竜となりぬ」と記されています。

「竜」のつく言葉では、「竜頭蛇尾」「画竜点睛」「登竜門」など、中国の古事由来する言葉がよく知られます。

「登竜門」は、黄河上流の急流の渓谷、竜門をのぼりきった魚が竜に変わったという伝説から成功への一歩となる難関という意味があります。

辰年にあやかっ、今年は何年を突破し、飛躍の年にしていきたいものです。

2000年

われら辰年生まれ

東由利町には3世代が辰年生まれの家族が3組、2世代で辰年生まれの夫婦が1組います。

めでたい家族の中から3家族の皆さんに新しい年の抱負をお聞きしました。

町の辰年生まれは402人

明治37年	女4人	合計4人	
大正5年	男14人	女20人	合計34人
昭和3年	男44人	女52人	合計96人
昭和15年	男22人	女32人	合計54人
昭和27年	男49人	女38人	合計87人
昭和39年	男15人	女12人	合計27人
昭和51年	男30人	女23人	合計53人
昭和63年	男20人	女27人	合計47人
計	男194人	女208人	合計402人

(12月16日現在)

表紙で協力していただいた皆さん(31人)
(コンピュータにより選びました)

明治37年生まれ：大場ハツエさん(久保)

大正5年生まれ：菊地三治郎さん(上通)、小松ハツヨさん(松柴)、八嶋与四三さん(家ノ下)、伊東フヂエさん(岩館)

昭和3年生まれ：小野勘蔵さん(五海保)、佐藤ハルミさん(葎沢)、鈴木昭三さん(袖山)、畠山千美子さん(茂沢)
昭和15年生まれ：小野サダヨさん(下通)、大坂シゲさん(下小路)、大塚清さん(板戸)、佐藤巳紀男さん(下通)

昭和27年生まれ：遠藤正悦さん(小倉)、大庭裕子さん(船木)、伊東絹子さん(横渡)、遠藤憲一さん(蔵)

昭和39年生まれ：小野浩人さん(上里)、畑山泉さん(大琴)、畠山明弘さん(大吹川)、遠藤洋子さん(館合新田)

昭和51年生まれ：横山慶和さん(向田)、工藤恵さん(中ノ沢)、今野芳さん(新町)

昭和63年生まれ：八塩小～小松智美さん(山崎)、渡辺稔秋くん(田代)

高瀬小～佐々木ゆかりさん(新町)、小松秀毅くん(湯出野)

大琴小～菅原綾乃さん(大琴)、長谷山真平、真司くん(船木)

卯之吉さん…体に気をつけ健康でいたい。若い人たちの手助けができればと思う。ヒデさん…家族仲良く過ごしたい。榮志さん…無理をせず、地道にがんばりたい。照子さん…今年は銀婚の年。何かいいことがあればと思う。



長谷山卯之吉さんヒデさん(昭和3年)

榮志さん照子さん(昭和27年)

【向田】



仙道清一郎さん(昭和3年)

悦子さん(昭和39年)

恵美さん(昭和63年)【新沢】

清一郎さん…元気でまめにがんばり、人にめいわくをかけないようにしたい。悦子さん…子どものパワーに負けないように元気で生活したい。恵美さん…今年は六年生。勉強に集中してがんばりたい。

巖さん…健康管理に気をつけて家族円満に過ごしたい。世帯主としてがんばってきたい。ミツ子さん…裕子さん…みんなが健康で楽しく生きていけるような西暦二〇〇〇年になってほしい。



小野 巖さん(昭和3年)

ミツ子さん(昭和27年)

裕子さん(昭和51年)【須郷田】

平成11年を振り返る

様々な出来事があった一年でした



1月
4日 新春町政座談会▼七分館二百数十名が地域の声を町によせる
6日 消防出初め式▼三百余名が一年の無火災を祈願
20日 葉たばこ収納▼一億三千三百万円あまりの収納状況
25日 第2回秋田東由利町を語る会▼六十余名が町応援団として出席

2月
3日 雪害対策本部設置▼積雪量が百五十三センチに
7日 大平スキー場お客様感謝デー▼感謝をこめてスキー場を大解放
9日 黒毛和種子牛初セリ▼平均価格四十二万円、価格上向き
14日 町民スポーツ祭・綱引き競技▼二十五チームが参加
21日 雪ものがたり99▼道の駅会場に三千五百人が訪れた
28日 秋田県選抜雪上野球大会▼県内各地から八チームが参加

3月
4日 議会定例会▼十一年度一般会計予算四十一億五千六百万円
9日 スポーツ栄誉賞・芸術文化奨励賞表彰式▼二十一人、二団体が表彰
10日 地域振興券交付(9月9日)▼地域経済の活性化図る

4月
11日 秋田県議会議員一般選挙▼本町の投票率は七五・九九％
23日 自治会長会議▼六十二自治会長が町当局と意見交換
29日 春の叙勲▼川尻幾郎、石渡力造両氏に勲五等瑞宝章

5月
13日 第50回秋田県植樹祭▼千六百名が八塩いこいの森に集まる
15日 第15回黄桜まつり▼過去最高五万五千人の入り込み客
23日 東京東由利会総会▼百六十余名が東京でふるさと談義に花
23日 第21回八塩ふれあい登山▼老若男女五十六名が頂上目指す

6月
9日 大さなぶりまつり▼「和太鼓と民謡の夕べ」に五百余名
17日 自治会長研修▼県立大学、広域清掃センター等で研修実施
18日 敬老会、七十歳を祝う会▼対象者九百十二名中四六％の出席
20日 町民スポーツ祭・トラック&フィールド競技▼総合優勝は蔵
23日 板戸1号トンネル貫通式▼延長百七十八メートル
30日 第44回町畜産共進会▼団体優勝に久山和牛改良研究会

7月
1日 町民プールオープン▼長崎宏子さんを講師に迎え水泳教室
1日 山荘八塩オープン▼八塩いこいの森に新しい施設完成
18日 町消防訓練大会▼総合優勝は第五分団、規律の部は第四分団
22日 第2回秋田しんせい農業協同組合重厚共進会▼町四年連続団体優勝
27日 町長選挙▼阿部幸悦町長が三選。十二年振り無投票

8月
15日 成人式▼七十八名が大人の仲間入り
18日 社会人野球大会▼ポパイが三年連続五度目の優勝飾る
22日 戦没者追悼式▼三百十二柱の御霊に祈り捧げる
22日 町民スポーツ祭・ゲートボール競技▼優勝は石高Aチーム

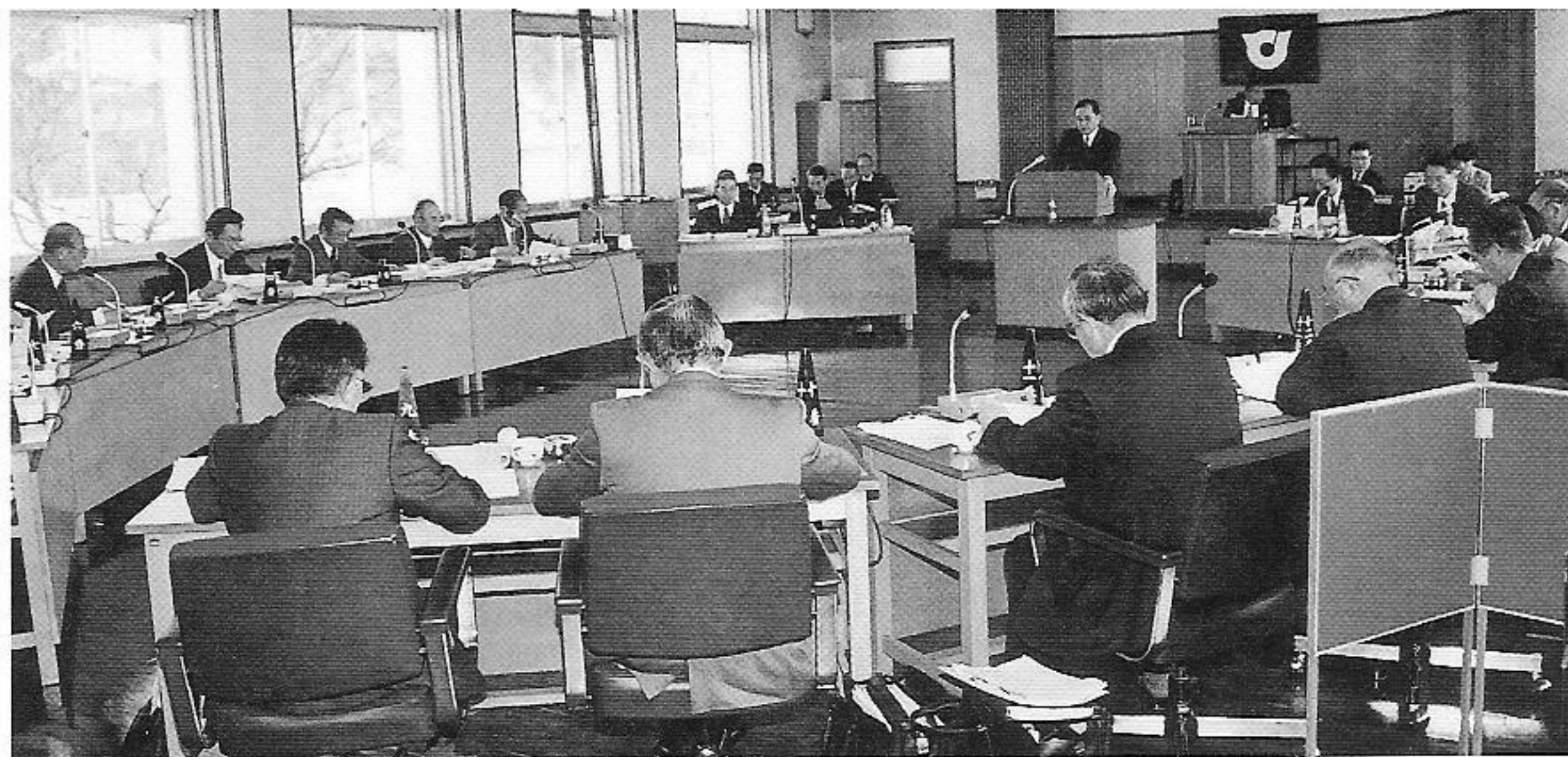
9月
5日 第87回秋田県畜産共進会▼優等賞に二個人、一団体
10日 合同金婚式▼三十五組の皆さんの結婚五十年祝い
13日 議会定例会▼十年度一般会計決算歳出総額四十八億五千五百五
20日 第23回野焼きを楽しむつどい▼県内から百三十余名の愛好者
20日 万二千円

10月
1日 情報公開制度スタート▼より開かれた町政に新しい取り組み
1日 助役再任▼小松久男助役が二期目に
10日 町民スポーツ祭・ペタンク&グラウンドゴルフ競技▼秋空の
下、町民が全力発揮
17日 ひがしゆり音楽祭▼小松耕輔四兄弟称え、八百余名が参加
24日 東中創立30周年記念式典▼三千余名の卒業生送った歴史振り返る
30日 秋まつり99▼九千人が秋の楽しみ会楽しむ
31日 文化講演会▼小倉出身農学博士遠藤章氏の講演

11月
2日 町功労者表彰式▼町功労者に小松忠正、梅津嘉一郎、登内英夫
の三氏、まちづくり奨励賞に遠藤真吉氏
4日 特別養護老人ホーム東光苑で使途不明金事件▼信頼回復に全力
10日 三町議員合同研修▼板東秋田県副知事が来町、講演行う
14日 東由利町農業者大会▼農産生産者など八十余名が参加
18日 福祉と健康のつどい▼老方出身小松眞史氏の講演
17日 合同海外研修▼オーストラリアに三町一村十七人が参加

12月
19日 第8回高橋宏幸賞童話秋田県コンクール▼四千二百点もの応募
22日 大平スキー場開き▼2月27日(日)までの営業

農産物加工施設が完成。



第11回 議会定例会

第十一回議会定例会は十二月九日に招集され、会期を十四日までの六日間としました。

初日、九日の本会議では阿部幸悦町長の行政報告、二議員による一般質問の後、工事請負変更契約の専決処分など六件を報告、請願、陳情、要望など六件、平成十一年度東由利町一般会計補正予算を上程して散会しました。

十日からは各常任委員会の審議が行われ、最終日の十四日の本会議では東由利町農林水産物処理加工施設に関する条例の制定など十議案を原案通り可決。付託陳情に対する各委員会の報告後、閉会しました。

町長行政報告

(一部抜粋して紹介)

東光苑の不祥事 全容解明を急ぐ

十一月四日、東光苑で入所者の通帳から勝手に預金を引き出し、着服、横領した不祥事が発覚、入所者の貯金通帳三十五人分から約三百件、約一千七百万円の使途不明金があることが判明しました。

町立の福祉の現場で発生した事件に町民始め、町内外の皆さんに大きなショックと不安を与え、築いてきました信頼が崩れ、東由利町のイメージが大きく損なわれことに対し、心からお詫びいたします。予想もしなかった不祥事が現実になってしまった今、損害を受けられた皆さんに対し

てお詫びしつつ、全容の早期解明に全力をあげて取り組んでいるところであります。

十一月十一日に議会全員協議会を開催して、概要などを説明、早期解決に取り組むと説明したところですが、内部調査が続いているため、現段階では残念ながら全容について明らかになっておりませんが、年内には全容を解明、損害を被った入所者に対し速やかに被害額を弁済していきたいと考えています。

また、町長、関係職員の監督責任問題についても年内に対応したいと考えており、若干の時間をいただきたいと思います。

今回の不祥事の直接原因が、組織機構上におけるチェック機能等が形骸化していた点にあると反省、改めて事務点検を行い、全職員に再発防止を呼びかけたところです。

当初、内部調査によって使途不明金と判明した三十五人分一千七百万円は、当事者に代わって関係者から町を通じて返済になっています。これについては該当者の損害別に町が仕分けした上で速やかに返済の手続きをしていきたいと考えています。その後には解明される被害額につきましても年内に返還できるように手続きを進めていきたいと考えております。

情報公開審査会委員を委嘱

本年十月一日から、東由利町情報公開条例が施行されたので、これに合わせて同条例第二十条の情報公開審査会の設置が必要となり、同日付で次の五人を情報公開審査会委員に任命しました。

小松敬子さん 中通 主婦
青木和雄さん 田代 僧職
八嶋 保さん 上通 無職
阿部重雄さん 蔵新田 理容業
佐藤力弥さん 宇戸坂 商業

委嘱した委員さんたちに情報公開条例の中身や審査会委員の職務について認識を深めていただくため、十一月十五日に審査委員会を開催し、説明等を行ったところであります。

特別職等の報酬改定を見送り

去る十一月二十九日に特別職報酬等審議会を開催し、議会の議員並びに町三役の報酬等の改定の是非について現下の経済情勢並びに国家公務員等に関する人事院勧告、県内並びに本荘市由利郡各町の動向等、多方面の情報を参酌し

て現状維持で諮問したところ、全会一致で諮問どおりの答中をいただきました。

従って、本年はいずれも改定を見送ることになり、今議会には議会の議員、常勤特別職の報酬及び給与、費用弁償等に関する条例等の改正案提出は見送らせていただいております。

特別職の報酬等については、平成八年以来今回で連続三年間にわたり据え置きとなります。

庁舎建設について計画委員会で検討着手

新庁舎の建設については、具体的な検討を開始すべき時期であるという認識に立ち、昨年十月に若手職員による庁舎建設検討プロジェクトを発足させ、検討を行ってきたところであります。去る十月に庁舎建設計画委員会を開催し、具体的な検討を開始することにしました。

庁舎建設計画委員会は、平成四年に制定し同七年に全面改定を行った要領に基づき各課長等を指定して設置されていたもので、これまで休眠状態にあったものです。

庁舎建設に係る具体的な点は、議会や関連機関との調整を

図りつつ、今後本計画委員会で詰めの検討をできるようにしてまいりたいと考えております。

東北電力旧サービスセンターを取得

町道両善寺線改良に伴う代替地として、去る十一月の議会臨時会で予算措置をお願いしました東北電力の旧東由利サービスセンターの用地等の取得契約を締結しました。

土地の面積は二筆合計七三三・二八㎡、取得価格は総額で六百六万三千百六十八円であります。

今後の対応としては、来年度に事務所兼居宅部分の建物を解体し更地とした上で、町道両善寺線の代替地として売却処分に付したいものと考えております。

介護保険本荘由利広域状況は順調

認定審査会の委員の委嘱は九月二十九日に行われ、百七名に對して委嘱を行っており、東由利町関係では四名となっております。第一回の認定審査会は十月四日に行われ、十一月末まで二十三回行われています。現在

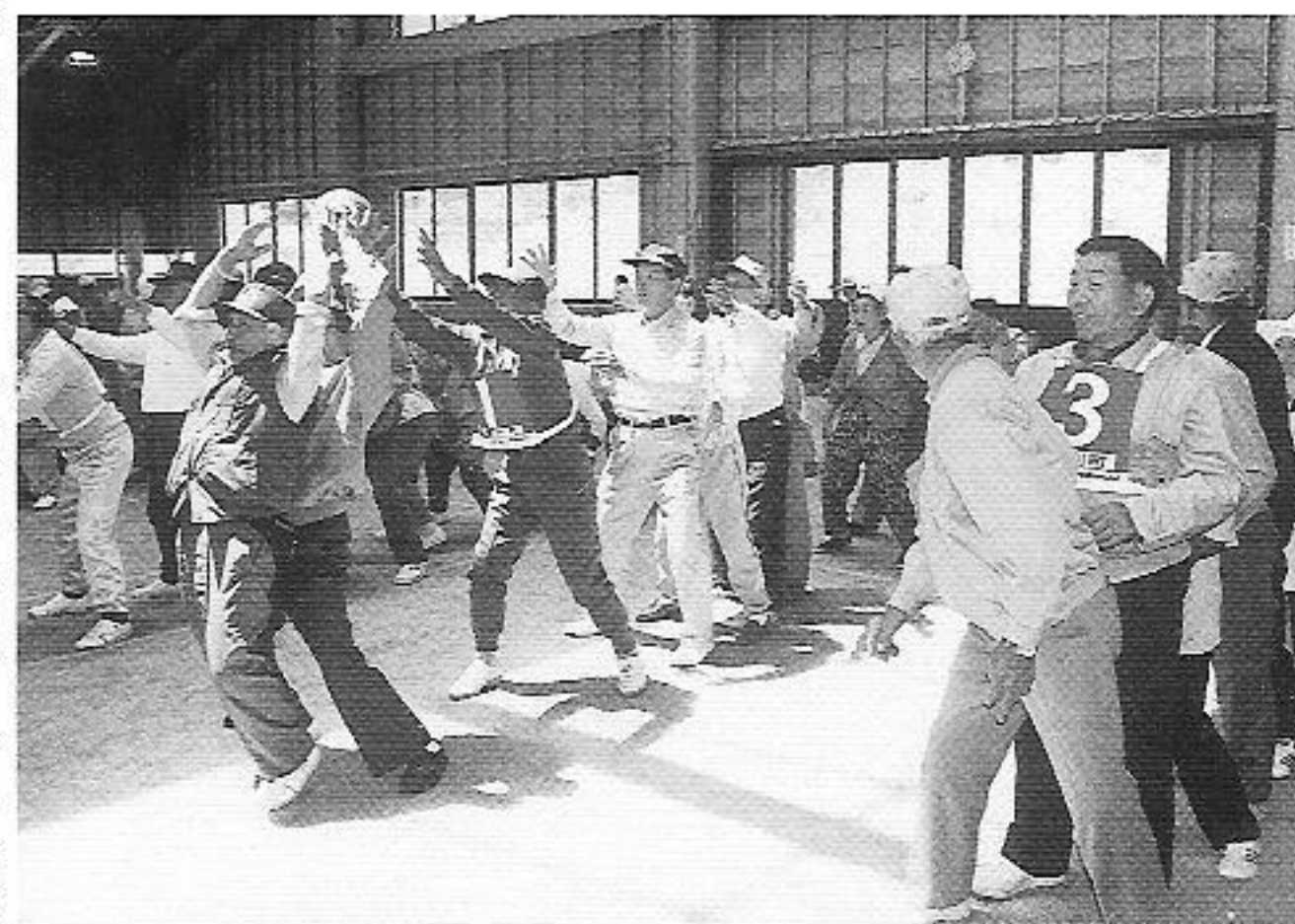
スケジュール表に従って順調に行われているところであります。

東由利町の状況は申請件数が百十七件となっており、十一月末までは在宅の方のみの申請受付であります。このうち既に認定審査会にかけられたのは六十八件となっております。今後は順次、計画に従って審査会にかけられます。

六十八件の認定の状況ですが、介護保険の該当にならなかった人が七件、要支援が六件、要介護一が十六件、要介護二が十六件、要介護三が八件、要介護四が九件、要介護五が六件となっております。

非該当、つまり自立の認定の方が七件ありますが、これらの方は自分でバス等で本荘市の病院に通ったり、または役場へ自ら自転車申請に求められたような方でしたので、介護までは必要とされていない方たちと見ています。

十一月末までは在宅の方の認定申請の受付を行ってまい



▲いつまでも健康でがんばりたいもの

りました。十二月からは病院へ入院されている方、老人保健施設に入所されている方、特別養護老人ホームへ入所されている方、そのほか在宅でまだ申請されていない方について申請受付を行っていきたいと考えております。

十二月から来年の三月までの間に約七十人程の方について、申請があるものと考えており、そうしますと東由利町の申請者は総数で百九十人前後と考えております。

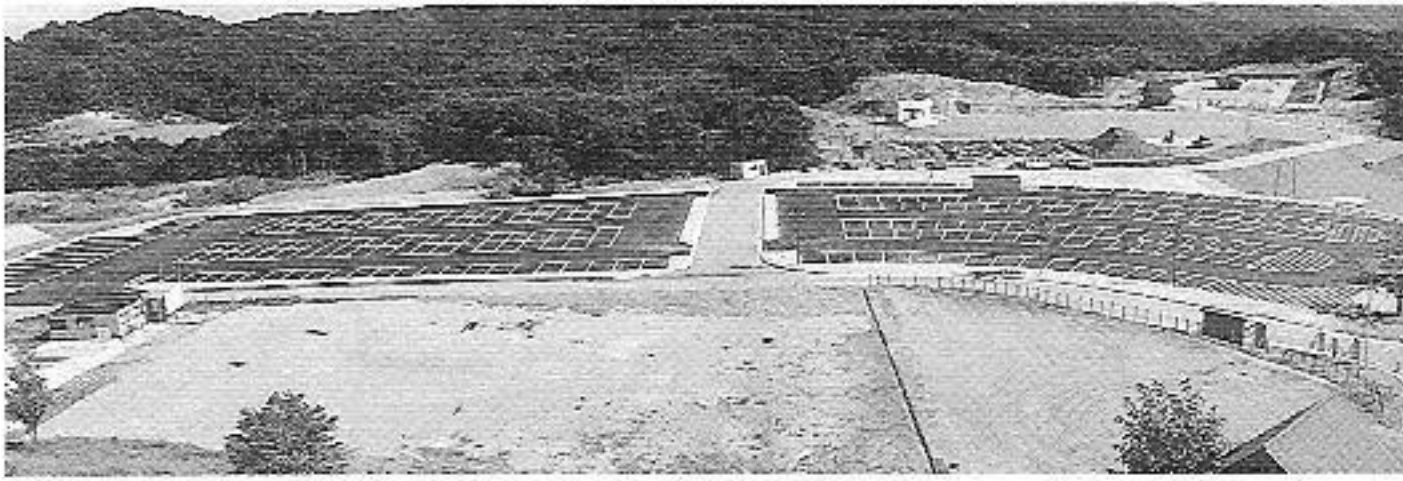
今後の町としての対応は、国の方で来年の一月末頃まで

は、介護報酬が決定されると
思いますので、これに合わせ
ながら町の在宅介護支援セン
ターの方で、介護支援事業者
の認可申請をして認可をもら
い、サービス計画作り、ケア
プランの作成を行っていく必
要があります。

着々と進む道路改良

国道一〇七号国道特殊改良
一種工事、仮称板戸一号トン
ネル掘削工事百七十八メー
トルが貫通し、平成十二年度に
は開通す
る予定で
ありま
す。引き
続き板戸
二工区約
五百メー
トルが着
工される
予定で、
完成は平
成十五年
度が見込
まれてお
ります。

岡南外東
岡南外東



▲林業地域総合整備事業で整備された駐車場

由利線、岩館バイパス工事は、
十一月三十日大蔵館に於いて一
部用地買収契約が行われまし
た。県の計画では、平成十一
年度から十二年度で用地買収を行
い、平成十二年度から法内側よ
り土を予定線に入れ、平成十三
年度、橋工事、土を入れての仮
設工事、暗渠工事を実施し、平
成十五年度完成を目指している
ところです。

県道横手東由利線笹倉トンネ
ル改修は、平成十一年度の漏水
補修工事を実施し、全長百九十
六メートルが完成となりました。

基盤整備促進事業（農道整
備・旧団体営農道）アクト二期
地区以外は全体計画どおり、小
田地区七百九十三メートル、新
田地区七百九十三メートル、新
田地区七百九十三メートル、明通地
区七百七十八メートルが今年度
完成いたしました。

林業地域総合整備事業では、
駐車場に防犯灯整備八基、駐車
場整備八二四五㎡が完成しまし
た。

林道湯出野線開設は全体計画
で平成十年から十三年まで一千
七百メートルを、仲ノ沢線開設
は全体計画で平成十一年から十
三年まで一千八百メートルを実

一般質問

（一部抜粋）

中西蔵之助議員

●東光苑の不祥事のその後につ
いて。

○問題解明のため内部、警察等
で調査中であり、退所者も含め
て整理をしているところ。全体
を明らかにした上で、本年度中
に結果を出したい。また同時に
再発防止に全力をあげている。

●地方分権は何か地方に分権さ
れるのか。

○制度上の問題であり、具体的
には中央集権型から地方分権へ
と流れが変わるということ。

●市町村合併の動きについて。

○効率的には分かるが、メリッ
トだけでなくデメリットも。最
終的には住民の意思を整理しな
がら。単独では困難なものは、
広域的に考えていくべきとき。

●介護保険で自立と認定された
申請者は。

○福祉、介護保険からも外され
る可能性を心配しながら、それ
ぞれの立場で考えていきたい。

小野 健議員

●農家の減収に対し安定資金、
見舞金の支給を。

○JAと組んで利子補給など独
自に対応するなど、さまざまな方
法で支えていきたい。個人個人
への見舞い金は考えていない。

●WTO農業協定の改定を提起
し、米を次期交渉の対象除外に。
○地域農業を守るため、機会あ
るごとに現場の立場から発言し
ていきたい。

●介護保険料の減免、貸し付け
制度、助成制度等の考えは。

○最初から満点は厳しいが、よ
い制度になるよう様々な面で拡
充できるように考えたい。

●東光苑の増設等の考えは。

○本荘由利地区の施設数は百パ
ーセントに限りなく近づいてい
る。施設の数を増やすのではな
く、内容の充実を図りたい。

●東光苑の不祥事について町の
事務管理について町長責任は。

○早く問題を解決することがま
ず第一。その後、責任問題等
について結論を出したい。

鈴木和夫議員

●農家の所得減に支援を。

○認定農業者を中心に町とし
てもさまざまな方法で支えてい
きたい。

●現状にあった生産調整対策を。
○国としての思いも分かるが、
現状にあった、将来を見据え
た方策を願いたい。

●畜産振興のため新たな保留
支援策の考えは。

○よい牛を確保していくべき
であるが、牛だけでなく農業
全体のバランスがよくなるよ
うな支援策をを考える。

●流雪溝水源水路等にガード
レール廃材利用を。

○ガードレール廃材は歪みが
多く、また幅が狭く不向き。
むしろ防雪柵廃材が向いてい
る。廃材があれば考えたい。

●海外先進地研修について今
後の考えを。

○町民、町単位でも大変に充
実した研修になっている。中
学生の研修なども合わせて今
後も続けていけたら。



▲本年度の町民海外研修から

町出身農学博士遠藤氏の 講演が有鄰館で

今年度の文化講演会は、本町小倉出身農学博士遠藤章氏を招いて、十月三十一日有鄰館を会場に行いました。

遠藤氏は町功労者であり、若くから研究活動され、現在は東京農工大名誉教授、バイオファーム研究所所長、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員として、活動されています。

遠藤氏の功績の中に微生物を利用した大きな研究成果があることはご案内のところですが、ご講演は「故郷を巣立って五十年」と題して、子供の頃の思い出、研究の苦労話などを交えた話をいただきました。

研究活動にお忙しい中のご講演であり、感謝を申し上げますと共に、先生のますますのご活躍をご祈念申し上げます。

海外研修で多大な成果

第九回町民海外研修が十一月十七日から十一月二十三日までの七日間の日程で、本町から七名が参加、三町一村による一行十八名の合同研修として実施されました。今年度は仙北郡より千畑町が新たに参加しています。

研修地は昨年と同じオーストラリアで、ニューサウスウェールズごみ処理機構、フレミングトン卸売り市場などを研修していただきました。

この研修は海外で見聞を広めることはもとより帰国後の参加者による交流が大きな成果となっています。

主な議案

●議案第一号 平成十一年度東由利町一般会計補正予算（第五号）

五千九百十六万二千円を増額し、歳入歳出予算総額を四十四億五千八百五十九万五千円としたもの。主な内容として公債費繰り上げ償還金五千四百三十三万四千円など。

●議案第二号 平成十一年度東由利町簡易水道事業特別会計補正予算（第一号）百十九万八千円を増額し、歳入歳出予算総額を四億七千七百八十七万六千円としたもの。

●議案第五号 一般職の給与に關する条例の一部を改正する条例

一、給料表の改正 給料月額を引き上げ

◆改定率〇・三五％（前年度〇・七九％）

二、宿日直手当の引き上げ 勤務一回当たりの支給額の限度額の引き上げ

◆一般の宿日直手当四千円から四千二百円

◆執務時間が通常の二分の一の

日等の引き続いて行う宿日直手当 六千円から六千三百円

三、期末手当の引き下げ 平成十一年度及び十二年度以降の期末手当の支給割合の引き下げ

◆年間の支給月数 四・〇 五月から三・七 五月（△〇・三月）

●議案第六号 東由利町農産物処理加工施設に關する条例の制定

◆目的・農産物を加工し付加価値を高めるとともに特産品の研究、開発を通じて地域の活性化と農家経営の安定、所得向上を図るため、東由利町農産物処理加工施設を設置するもの。

◆位置・老方字四ツ眼二十二番地七

◆利用料金の上限額 漬物加工（三百円／原料十キログラム当たり）

菓子加工（二百円／もち米一・五キログラム当たり）

鴨鍋製造（三百円／一時間当たり）

包装室（三百円／一時間当たり）その他（三百円／一時間当たり）

原材料保管庫（無料）



▲農産物処理加工施設

事務・休憩室（無料）
資材置き場（無料）

◆この条例は平成十二年一月十七日から施行する。

●議案第十号 公有林野等官行造林契約の解除

大正十一年二月一日付けで国と契約締結した公有林野等官行造林契約の土地について解除申請を行うもの

◆解除しようとする土地及び台帳面積 黒淵字堰根二十一

番の二 山林一、四一五、〇三八平方メートル 解除実測面積 一林班一小班内 一

四・九二ヘクタール 二林班へ小班内 三・二六ヘクタール 合計一八・一八ヘクタール

ル

東光苑不祥事のその後の経過と 善後策のご報告

阿部幸悦町長

十二月号広報で、東光苑の不祥事についてご報告とお詫びを申し上げたところでありましたが、その後の調査で明らかになった事を含め全体についてご報告申し上げます。

十一月四日に発覚した今回の件について、当人が臨時職員として採用された平成五年四月まで時期を遡って精査いたしました。その結果、平成六年十二月から平成十一年十月までの四年十一ヶ月間に延べ五百五十六件の不正処理が行われ、これによる被害者は五十七人（現入所者三十八人・退所者十九人）で、被害総額は四千八百八十六万九千九百円であることが判明いたしました。この調査結果については当人が自ら行った事を認めており、使途については大方をカードローンの返済に充てたと話しています。

調査の結果は以上でありましたが課題は被害者に対する速やかな弁済であります。

そこで、当人はもちろん家族等に対し弁済を強く働きかけたところ、前回調査までに判明した一千七百万円については当人の関係者から町を通して既に被害者に弁済され、当面さらに三百万円について努力を願っているところです。

町では、引き続き催促が続けてはありますが、総額の速やかな弁済は現時点で困難であると判断し、緊急避難的に、被害額の内の二千二百万円について町長、助役、施設長、前施設長の四人が共同で当人に貸付けし早急に被害者へ弁済することといたしました。これにより、年内には大方の整理がつく見通しとなりました。

約五年もの間繰り返し行われた不正処理を発見できず、大きな被害を与える結果となったことについて関係職員の処分を行いました。不正処理の発生期間中に施設において管理監督すべき立場にあった職

第十二回議会臨時会 十二月二十七日招集

第十二回議会臨時会が十二月二十七日に招集され、一般会計補正予算など二議案を原案どおり可決しました。内容は次のとおり。

■議案第一号 特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例▼平成十二年一月一日

員七名について、管理職については降任、その他の職員については減給処分といたしました。併せて、町長及び助役についても減給処分といたしました。

以上、調査結果の全容と被害者対策及び関係職員等の処分についてお知らせするとともに今回の不祥事について皆様に深くお詫び申し上げます。再びこのような事がおこらないよう全職員が心新たに公務に取り組み、東光苑はもとより町の信頼回復のため全力を尽くして参る所存でありますので、益々のご支援をくださるようお願い申し上げます。

(十二月二十七日・記)

から同年三月三十一日までににおける町長及び助役の給料の月額を十分の一減じた額とする。

■議案第二号 平成十一年度一般会計補正予算（第六号）三千四百四十三万円を増額し、歳入歳出総額を四十四億九千三百二十五万円としたもの。

また議会臨時会冒頭において、阿部幸悦町長は東光苑で発生した元臨時職員による使

途不明金事件について、調査結果およびその全容について経過を報告しました。同時に被害者である東光苑入所者等への弁済策、町長、助役、関係職員の処分実施などの善後策を報告しました。

阿部町長は報告の中で今回の不祥事について入所者および関係者、町民の皆さんに対してお詫びすると同時に「全職員挙げて信頼回復に全力を尽くし、再発防止のために取り組みたい」としました。

センサスを活かして築く新世紀

農林水産省では、平成十二年一月一日に「二〇〇〇年世界農林業センサス」を実施します。

農林業センサスは、全国の農家や林家などすべての農林業を営む事業体を対象として行う極めて大規模な調査で、いわば「農林業に関する国勢調査」ともいえる調査です。

農林業は、食料や林産物の供給に加え、国土・環境の保全などの重要な役割を担っていますが、その一方で、山林の荒廃や耕作放棄地の増加、労働力の減少と高齢化など多くの課題を抱えています。

これら諸課題に対応するため、三十八年ぶりに農業基本法が改正され「食料・農業・農村基本法」

が平成十一年七月に成立しました。

農林業センサスの結果は、この基本法を受けて具体化される各種農林業施策を企画、立案する際の重要な基礎データとなります。

調査に当たっては、調査員が所持する調査票に、農林業の経営状況などを記入していただきますが、調査で得られた個人情報は、税務など統計を作成する目的以外に使用することはありません。法律で固く禁じられていますので、ありのままを記入していただきますようお願いいたします。

農林水産省・東田利町

年内に大方の整理

学校は今

「大琴小の今後を考える」
アンケート結果から

町内各小学校の今後の入学児童数並びに全校児童数は、左記のように漸減の方向を示しています。特に大琴小学校に於いてその傾向が著しく、児童の学習、体育、行事等において十分であるというご意見が色々あります。教育委員会として、大琴小学校学区の人々の考えを集約し、今後の方向づけを考えるための資料にするためアンケートを実施しました。

このたび、全町の皆さんにもその結果をお知らせし、一緒に今後の「少子化における学校教育のあり方」を考えていきたいものと願っています。（教育委員会）

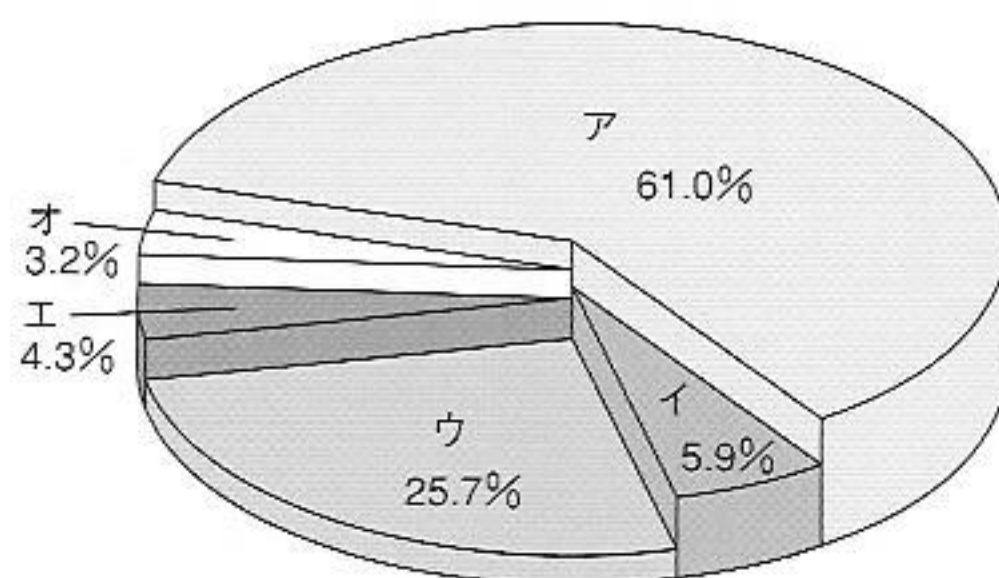
学 校	年 度	11	12	13	14	15	16	17	備考
八 塩	入 学	15	15	17	15	11	22	10	
	総 数	92	93	91	88	91	95	92	
高 瀬	入 学	17	24	12	7	16	17	11	
	総 数	118	112	106	92	93	93	86	
大 琴	入 学	6	5	15	7	2	7	6	
	総 数	43	39	44	42	39	42	42	
全 町	入 学	38	44	44	29	29	46	27	
	総 数	253	244	241	222	223	230	220	

参考資料：児童数・生徒数の推移調査

一、あなたの家にはお子さんか
お孫さんがいますか。
ア、いる 六八人
イ、いない 一一四人
ウ、その他 五人
合計 一八七人
※設問「以下は全体をまとめた数字で表わしました。」

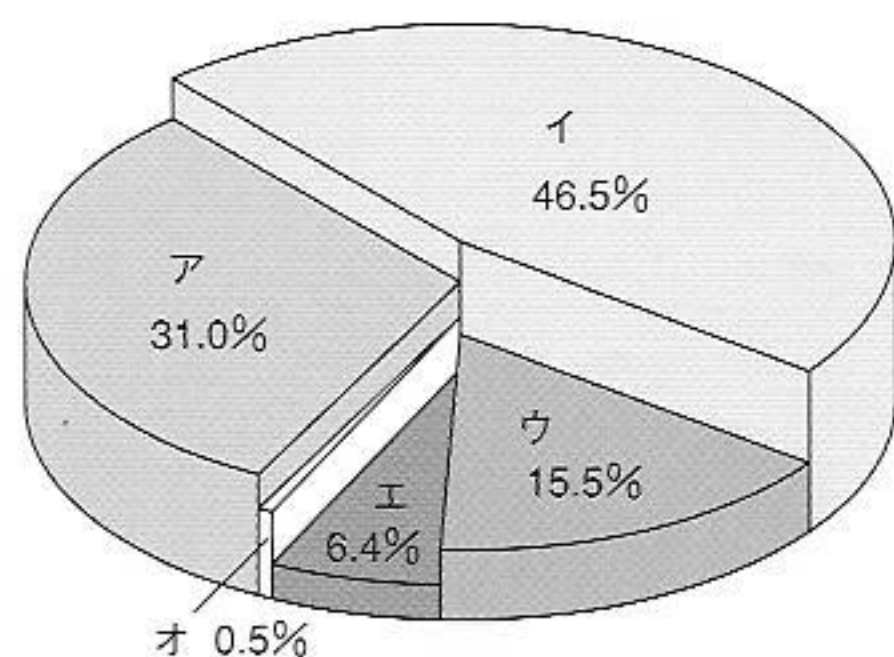
▼調査の対象 大琴小学校学区の全世帯 二五二世帯（二百五十二人）
▼調査の期間 平成十一年十一月十九日～十一月二十八日
▼調査の方法 地区の自治会長を通しての配票、PTA会員の回収とした。
▼調査表の配票数と回収数及び回収率 配票数 二五二 有効回収数 一八七 回収率七四・二％

区 分	人 数	割 合
ア.高い	114	61.0%
イ.低い	11	5.9%
ウ.どちらとも言えない	48	25.7%
エ.関心がない	8	4.3%
オ.無回答	6	3.2%
計	187	100.0%



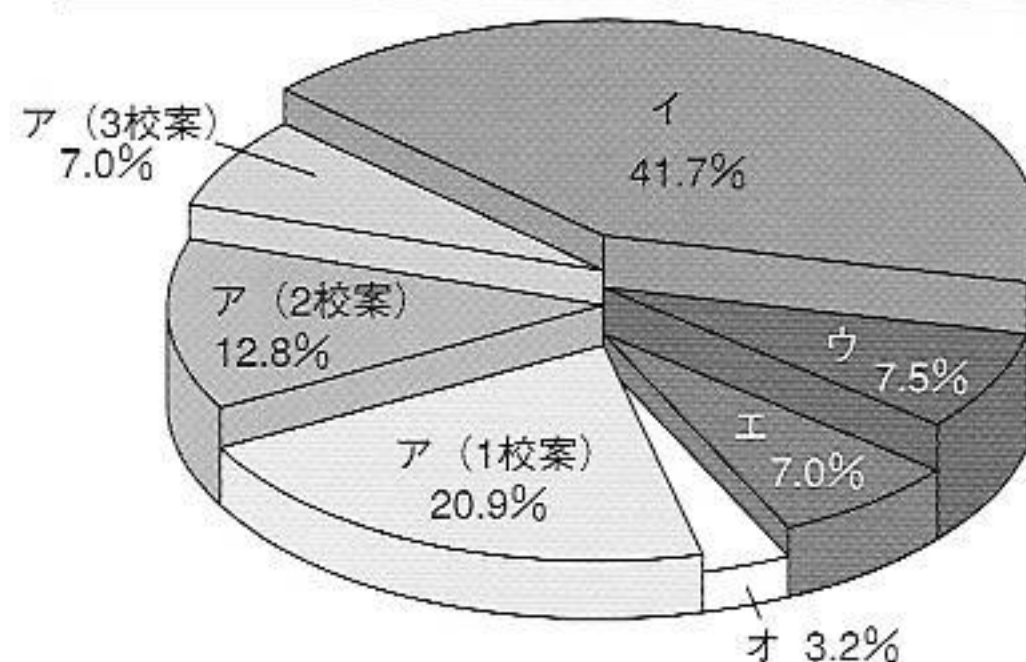
二、あなたは大琴小の統合・再編成問題について関心の程度はどうですか。

区 分	人 数	割 合
ア.他の学校とまず統合すべきだ	58	31.0%
イ.3校統合で考えるべきだ	87	46.5%
ウ.現状のままでよい	29	15.5%
エ.分からない	12	6.4%
オ.無回答	1	0.5%
計	187	100.0%



四、大琴小の今後についてどう考えますか

区 分		人 数	割 合
ア.早急に再編成 すべきだ	1校案	39	20.9%
	2校案	24	12.8%
	その他	13	7.0%
イ.必要だが、ある程度準備 期間を設けるべきだ		78	41.7%
ウ.現状維持でよい		14	7.5%
エ.分からない		13	7.0%
オ.無回答		6	3.2%
計		187	100.0%



三、今後、入学児童総数は30～40人に推移していきますが、学区再編成の必要性は

東京でのご宿泊ご休憩は 秋田県市町村東京会館へ



申込・問い合わせは
☎03-3831-0722まで

上野駅から徒歩五分。
ビジネス、レジャーに最適です。
◎会館のご案内▼利用時間：午前六時三十分から午前零時▼宿泊利用時間：午後二時から翌日午前十時
◎宿泊料金（平成十一年十一月現在、税・サービス料込み）▼一室一人利用：一人六千六円、一室二人利用：一人四千五百五円、一室三人利用：一人四千二百七十四円、小学生以下一人二千三百十円

好評のスキー講習会本年も

由利本荘公認スキー指導員連絡協議会では、平成12年ナイタースキー講習会を次の通り開催します。

日時 平成12年2月9日（水）～10日（木）
講習時間19:00～21:00（受付18:30～）
場所 鳥海高原矢島スキー場
対象 一般男女（先着50名）
講師 全日本スキー連盟公認指導員
参加費用 傷害保険料等 1名 1,000円
（リフト券は各自準備）
申込 ハガキ又はFAXに住所、電話、氏名、年齢、性別、スキー技術レベル（上、中、初級、全初）を記入、平成12年1月31日まで次へお申し込みを。
☎015-0241 東由利町宿字大琴62-2
石綿喜代隆
☎0184 (69) 3232 FAX 0184 (69) 3349

個性豊かな森林が失われるの
きており、その結果、地域の
また、農山村の生活における
森林との関わりが薄くなって
が難しくなっています。
不足などから間伐などの保有
が難しくなっています。
また、農山村の生活における
森林との関わりが薄くなって
きており、その結果、地域の
個性豊かな森林が失われるの

林業
だより

美しい森林

ではないかと危惧されます。
幸いにも本町では、八塩
の整備、桜の園整備、コナ
ラ林の整備やキャンプ場、
運動広場、休憩施設などを
整備して森林の総合利用を
進めています。

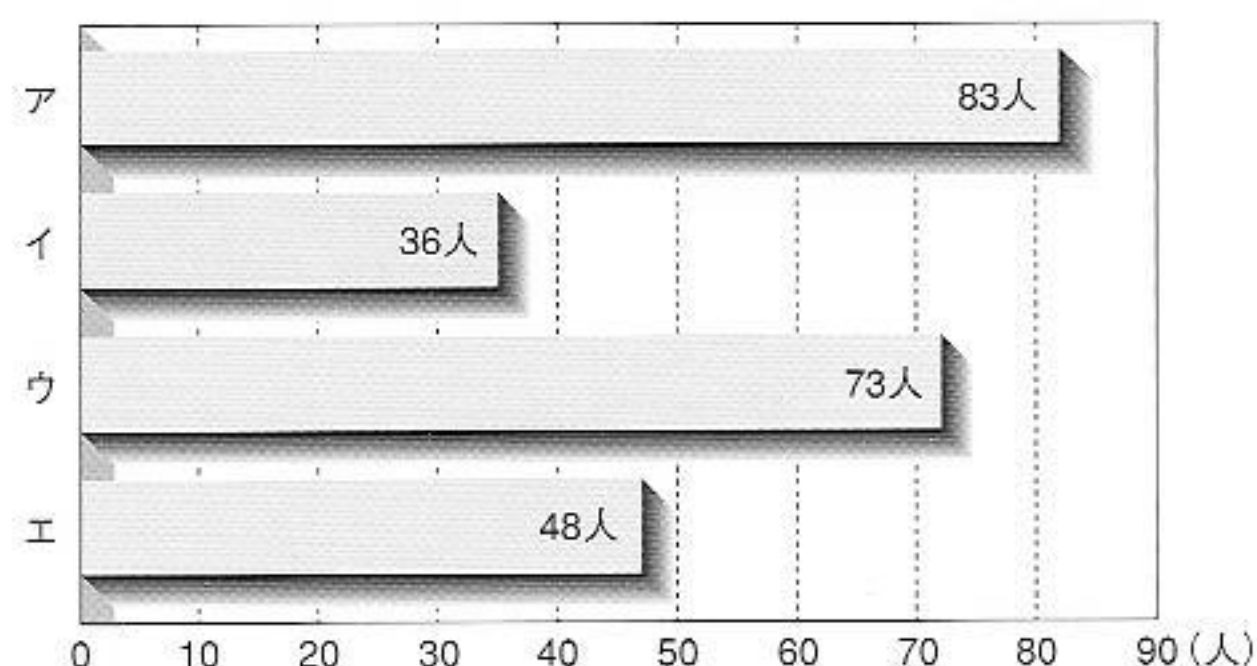
森林を「木材生産の場」
としてだけでなく、地域住
民や都市生活者も含めて
「生活の場」として認識して、
ザリツシユ博士が提言した
美しい森林を目標に行政の
力を借りて整備していき
たいと思います。

（町林業懇話会会長

佐藤恒悦氏）

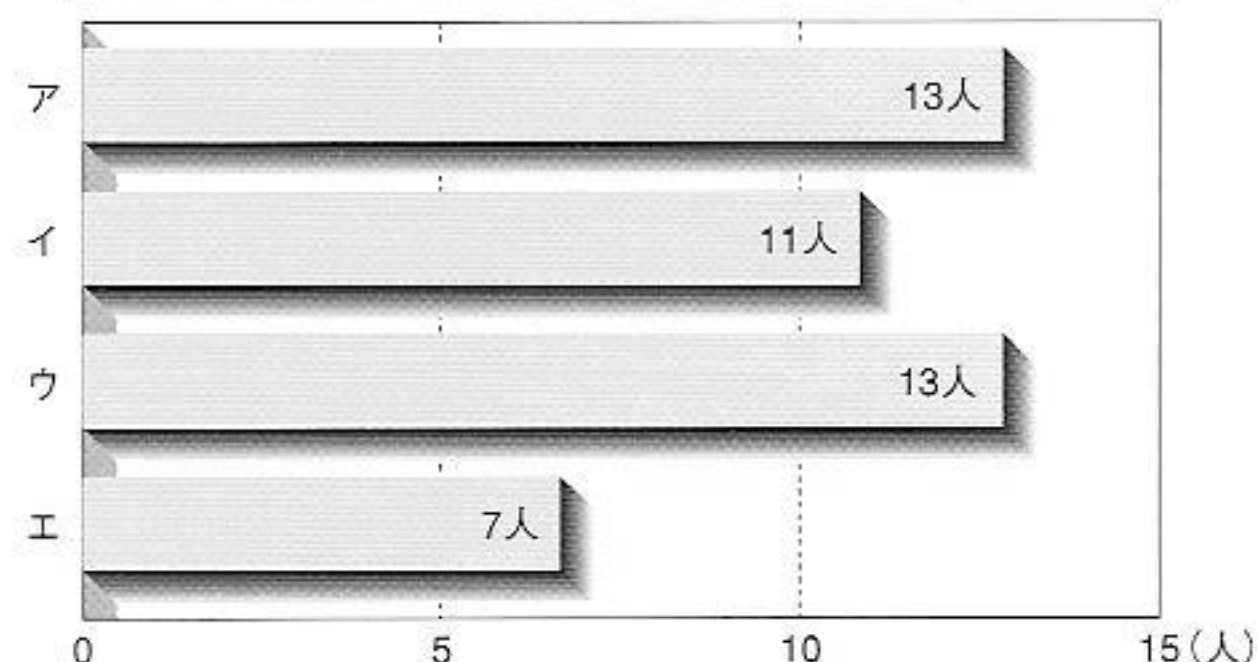
五、四でア、イと答えた人は、主な理由を二つ選んでください。（複数回答）

区 分	人 数	割 合
ア.今後児童数の増加は考えられない	83	57.2%
イ.少人数では学習でもまれないので、力がつかない	36	24.8%
ウ.少人数では学校行事・クラブ活動が十分できない	73	50.3%
エ.交友関係が狭く視野も狭くなる	48	33.1%
オ.その他		
計	145	



六、四でウと答えた人は、主な理由を二つ選んでください。（複数回答）

区 分	人 数	割 合
ア.教師と児童の触れあいが深まり学力もつく	13	44.8%
イ.一人一人が活動できる場面が多くなり色々な経験ができる	11	37.9%
ウ.小学校は地域の中心として必要だ	13	44.8%
エ.通学距離が短く家庭の負担も小さい	7	24.1%
オ.その他		
計	29	100.0%



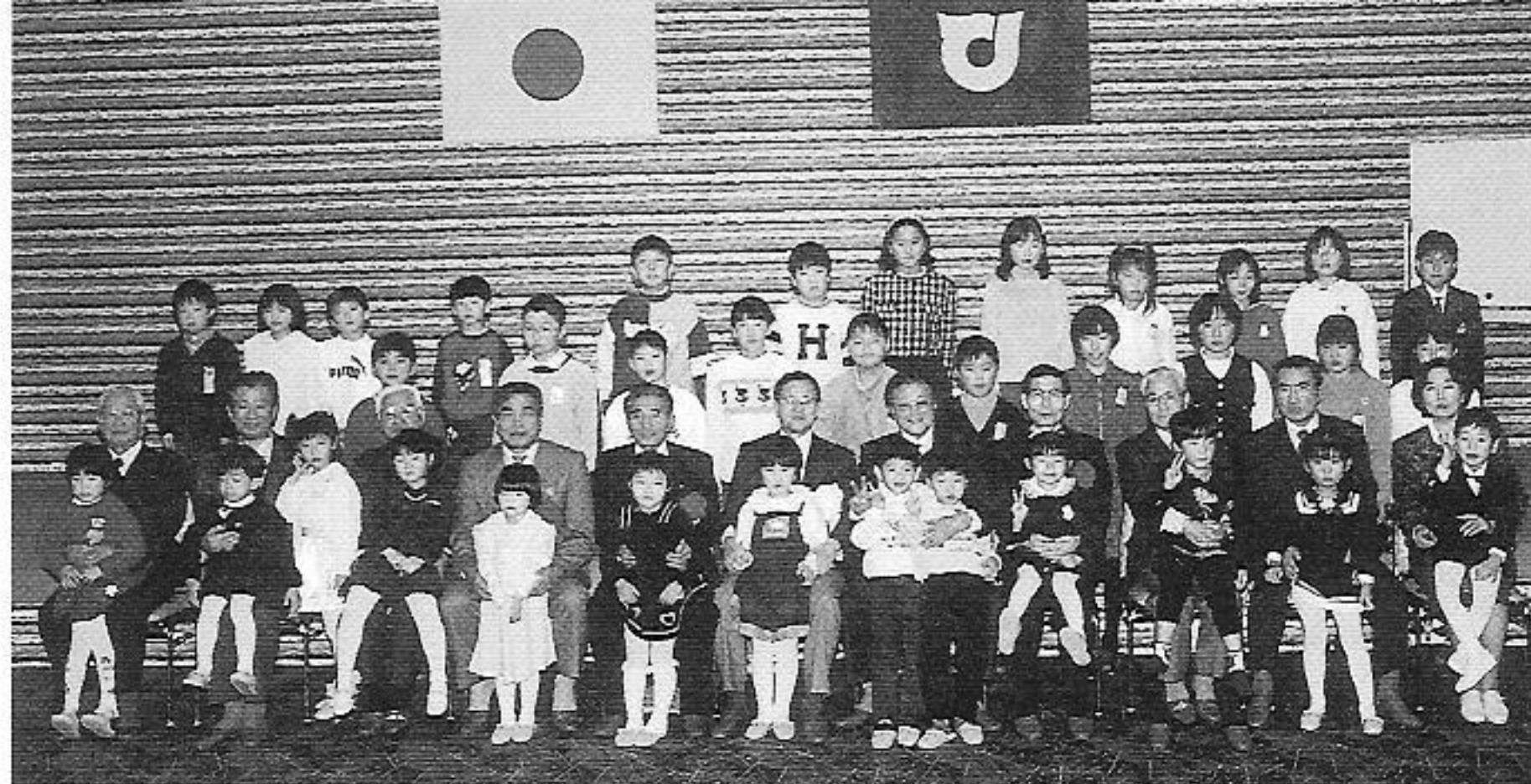
2000年は国勢調査の年

本年西暦2000年は、今世紀最後の国勢調査の年です。この調査は10月1日に全国一斉に行われ、日本に住んでいるすべての方が対象になります。調査結果は日本の人口を知ることはもとより、皆様の生活をよりよくする各種施策に反映されます。そのためには、皆様一人一人のご理解とご協力が必要であることは言うまでもありません。どうぞ国勢調査にご協力くださいますようお願いいたします。

素直な心を表現

第8回 高橋宏幸賞・ 童話秋田県コンクール

十二月十九日、第八回高橋宏幸賞・童話（感想文・感想画）秋田県コンクールが有鄰館で開かれ、メルヘン賞、ロマン賞、ファンタジー賞受賞者をはじめ、保護者など関係者百余名が出席、受賞者を称えました。



このコンクールは町出身の童話作家高橋宏幸先生を顕彰するとともに、童話を通じて子どもたちの優しい心を育てることを目的に毎年行われているものです。

今回のコンクールには、町内外の幼児、小学生から感想文二百六十五点、感想画三千九百三十五点の合計四千二百点もの応募がありました。なお昨年と比較して応募総数が四百四十六点増えています。（参考 平成十年度、三千七百五十四点、平成九年度、三千百三十三点）

当日は感想文で六回連続入選以上の須藤駿くん（刈和野小）、感想画でファンタジー賞、感想文でロマン賞を受賞した阿部琢磨くん（矢島小）、鹿角市からこの表彰式に出席した米沢沙希さん（末広小）などの受賞者も



出席しました。

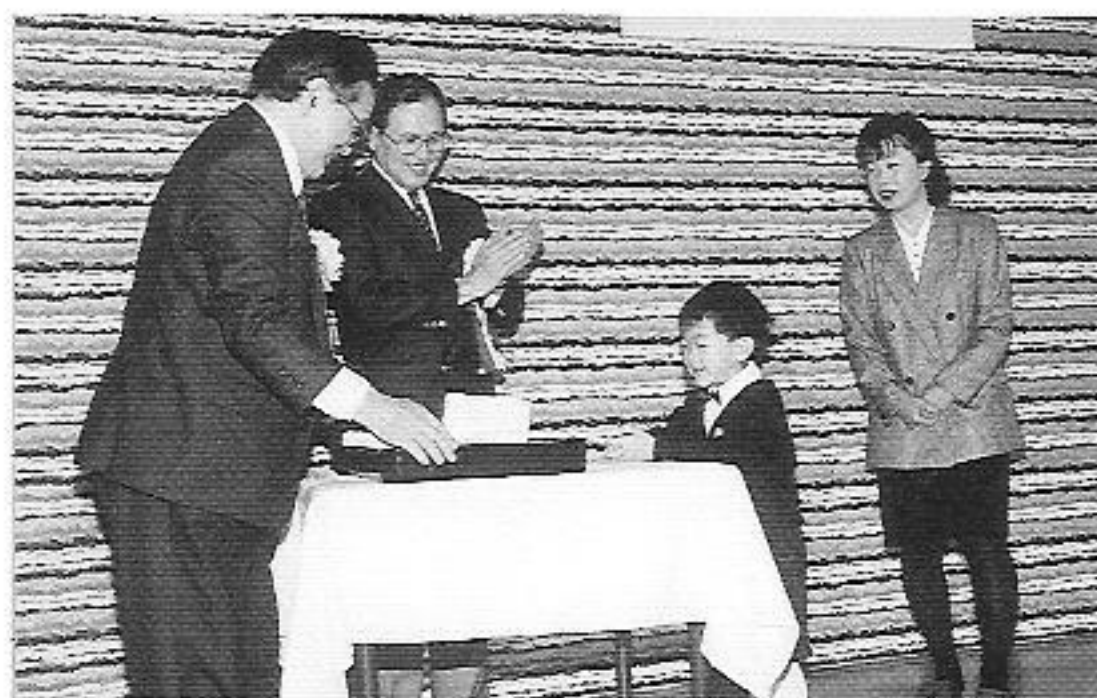
表彰式では阿部幸悦町長が主催者を代表して「年々大きくなるコンクールを支えてくださる多くの皆さんに感謝したい」などとあいさつ。

審査員を代表して、佐々木良三秋田大学教授がプロ画家作品と入賞者作品を比較しながら「素直な心が表現された作品が寄せられた。個性豊かなものを作るには子供のころの個性を伸ばす努力が大切であり、同時に子供たちからうばわない教育が必要である」などと講評。引き続き阿部町長、高橋先生から賞状と記念品、サイン入り色紙と自作童話本が入賞者全員にそれぞれ手渡されました。

感想文発表では、メルヘン賞を受賞した大日向志穂さん（大

▲高橋先生のあいさつ

琴小）が元氣よく感想文を朗読しました。（次頁掲載）
その後高橋先生が作品の応募数が増加する理由について「親がいい本をわが子に、先生が児童にという思いがあるのではないか。また本をおもしろいと思う子どもたちも増えている」とし、故手塚治虫氏との交流エピソードを交え「自分を励ます何かがあれば力がわいてくる。今日の喜びを大切にしながら、頑張ってほしい」とあいさつしました。子どもを取り巻く状況が変化している今、本にふれることは新たな生き方を発見する機会にもなっているようです。



▲受賞者に阿部町長、高橋先生から賞状と記念品が

受賞者一覧

（敬称略）

●感想文の部・小学生

応募総数…二百六十五点
入賞者合計…七十七点

■メルヘン賞（一点）

大日向志穂（大琴小六年）

■ロマン賞（五点）

阿部琢磨（矢島小一年）

阿部奈津子（高瀬小二年）

畑山千穂（八塩小三年）

村上侑貴野（鶴舞小四年）

米沢沙希（末広小五年）

■ファンタジー賞（七点）

渡邊大輔（埴川小一年）

莊野千秋（八塩小二年）

今野咲（子吉小三年）

石川愛弓（新山小四年）

佐藤舞（八塩小五年）

須藤駿（刈和野小六年）

福井菜津実（下浜小六年）

■レインボー賞（十七点）

入賞（四十七点）

●感想画の部・小学生

応募総数…三千四百七十八点
入賞者合計…一千六十三点

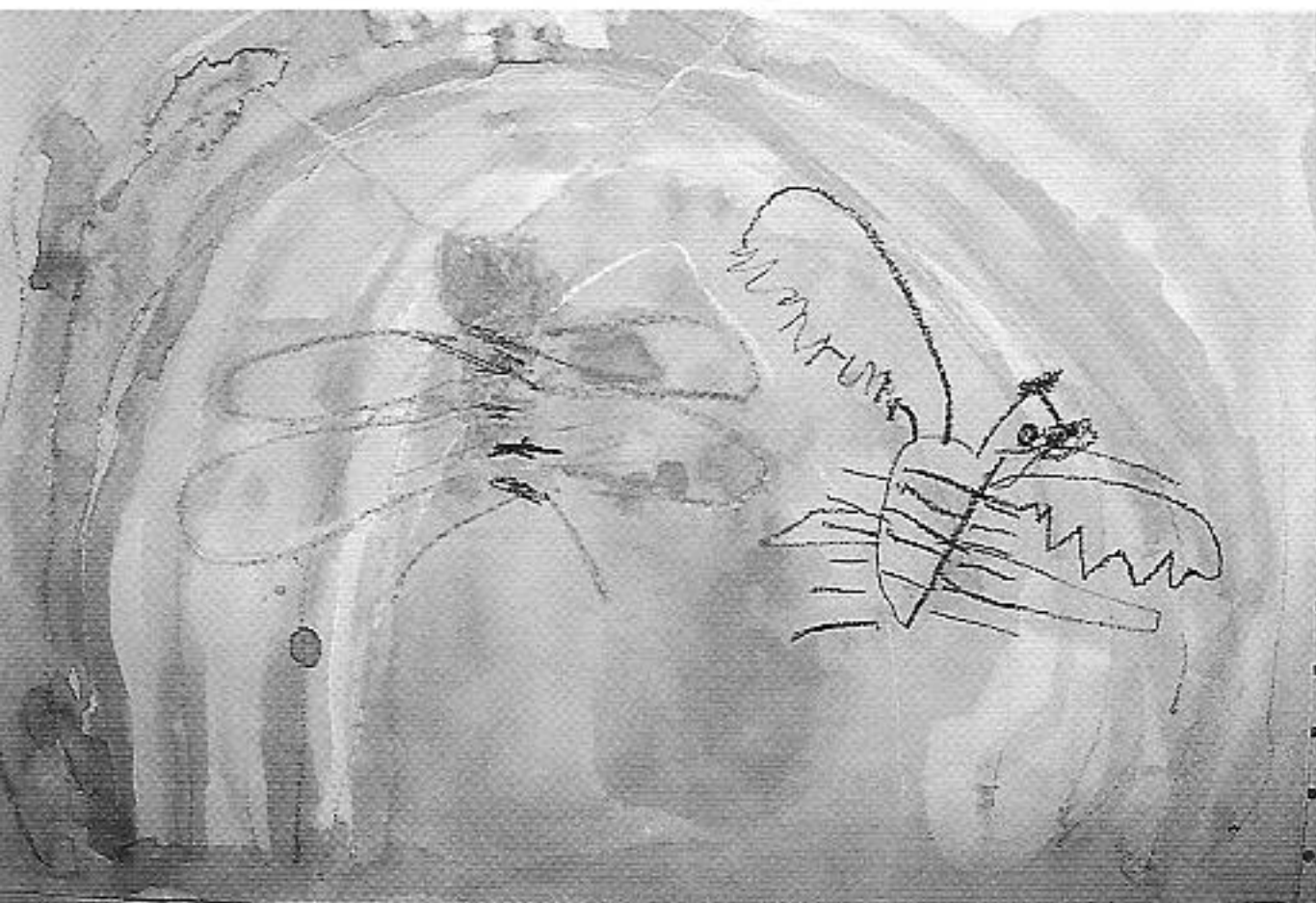
■メルヘン賞（一点）

館岡慧彦（明徳小四年）

■ロマン賞（五点）

佐藤駿（西目小一年）

高橋宏幸賞入賞作品から



感想画メルヘン賞 (幼児の部)

トノサマパッタのぴょんこ／佐々木真人くん



感想画メルヘン賞 (小学生の部)

チロヌップのきつね／舘岡慧彦くん



モモと時間どろぼう

大琴小学校 6年

大日向志穂さん

「モモの所へ行つてごらん」
モモの近所の人たちの口ぐせです。どうしたらよいかわからず思いまよっている人にモモに話を聞いてもらうようにすすめるのです。すると不思議なことに、モモに話を聞いてもらっているだけで急に自分の意志がはっきりしてきます。勇気が出てきます。希望と明るさがわいてきます。だれだって人の話を聞くくらいできるのに、どうしてモモだけ、ただ聞いてくれるだけで相手に生きるパワーを与えることができるのでしょうか。

灰色の男たちは、人々に時間の難しい計算をつきつけて、損をしている気にさせて時間の節約をさせました。そしてその節約した時間を時間貯蓄銀行に預けさせ、自分たちのためだけに使ってしまう。人々は「よい暮らし」のためと信じて必死で時間を節約し、何かに追いつてられるようにせかせかと生活し始めます。

モモの生き方を知るまでは別にあたりまえと思っていた自分の生活が、時間どろぼうにとられた人々とそっくりじゃないか、と気づき、おどろきました。モモのまわりでは、わたしたちと同じはずの時間がゆっくりと動いているように思えます。だからこそ、モモのところに話を聞いてもらいに来る人たちは、ゆったりとした気分で自分のことを考えることができ、自分で解決方法を思いつくことができました。

じたことがありました。理科の時間の学習の星の観察をするため、父が近くの山に連れていってくれた時です。空いちめんに輝く星たち、地球に光がとどくまで何年かかる宇宙の星たちをながめていると、とてもゆっくりとした気分になり、時間から解放されたような気分になりました。モモは、いつでもそのような気持ちで生きているのだと、少しモモの心にふれたような気がしました。

●感想画の部・幼児
応募総数・四百五十七点
入賞者合計・二百十三点
■メルヘン賞(一点)
佐々木真人(中央保育所)
■ロマン賞(五五五)
今野亜澄香(西仙ひまわり幼稚園)
長谷川奈央(道川保育園)
小松勇人(道川保育園)
藤原千尋(石沢保育園)
深井新太郎(川添保育園)
■ファンタジー賞(七五五)
佐藤逸星(みどり保育園)
長谷山公子(みどり保育園)
阿部麗奈(永慶保育園)
二木ひかり(岩見三内保育園)
金瑞季(中央保育所)
戸嶋愛美(西仙ひまわり幼稚園)
佐藤聖(川添保育所)
■レインボー賞(十八五五五)
入賞(百八十二点)

介護保険情報

第六回

介護サービス計画2

平成十二年四月にはじまる介護保険。すでに介護サービスを希望する人の要介護認定の申請受付もはじまり、開始まであとわずかとなりましたが、この新しい制度について不安や疑問をおもちの人がまだいらっしゃるのではないのでしょうか。

今回は、介護サービスについてQ&Aでわかりやすくお答えいたします。



Q1 サービスは計画にそって提供されるって聞いたけど、だれが計画をたてるのですか。

A1 介護支援専門員が計画を作成します。介護支援専門員は、利用者が適切なサービスを受けられるよう、本人や家族の相談との連絡調整などを行って、利用者の希望にそった介護サービス計画を作成します。

Q2 介護保険ではどんな施設に入れるのですか。

A2 介護保険で入所できる施設は、都道府県知事の指定等を受けた介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設（療養型病床群等）の三施設です。それ以外の施設（有料老人ホームや軽費老人ホームなど）に入所する要介護（要支援）認定者がうける介護サービスについては、在宅サービスのあつか

いとなります。



Q3 保険料を納めているので、サービスは無料でしょうか。

A3 いいえ。医療保険で医療をうけると、一定の割合の利用者負担があるように、介護保険でも介護サービスに要した費用の割を利用者が負担することになります。施設入所の場合は、一割の負担に加え、食事にかかる費用について定額の負担があります。また、施設入所時の日常生活費は全額利用者負担となります。さらに、一割の利用者負担が高額となった場合は、一定額を超えた分について、高額介護サービス費が支給されます。

Q4 サービス計画にないサービスは利用できないのですか。

A4 利用できます。ただし、介護保険では要介護ごとに標準的に利用されるサービス例をもとに、一カ月に利用できるサービスの額に上限（支給限度額）

がもうけられていますので、計画にない追加のサービスを利用することで限度額を超えてしまう場合、超える分については全額利用者負担となります。

Q5 隣町の事業者からサービスをうけてもかまいませんか。

A5 この市町村でサービスをうけてもかまいませんし、原則サービスにかかる費用（介護報酬）は変わりません。

Q6 サービスの内容が悪かったり、不満があるときは変更できますか。

A6 サービスをうける事業者やサービスの内容は自由に選ぶことができますし、途中で変更することもできますので、このような場合はがまんをせず、担当の介護支援専門員やサービス提供事業者、担当窓口にご相談ください。

Q7 ヘルパーの資格をもっており、母は自分で介護しますが、この場合介護保険の給付が認められますか。

A7 事業者による訪問介護だけでは必要なサービスの見込み量を確保することが困難と市町村長が判断した地域などでは、

ホームヘルパー等の資格を持ち、ヘルパーの登録をして実際に訪問介護に携わっている人が行う家族の介護については、介護保険の給付が認められます。

Q8 病院に入院中でも介護サービスをうけられますか。

A8 病気やケガの手術や治療などで一般病院などに入院している場合は、医療保険からの給付となり、介護保険からサービスを受けることはできません。

療養型病床群等、介護療養型医療施設への入所、入院では、介護保険と医療保険の両方からの給付が考えられます。その場合、要介護と判定された病状の安定した長期療養患者については、介護保険から給付をうけることになります。

Q9 施設への入所を希望しているけれど本当に希望どおりに入れますか。

A9 要介護認定で、介護度一以上の方は施設でのサービスがうけられることになっていますが、希望する施設が空いていない場合は当面自宅での在宅サービスなどにより対応することになります。



続・畜魂

～つれづれの記

第8話「東由利の神様」

鈴木龍太郎・文

「苦しい時の神頼み」と諺にある。苦しみがある。苦しみが人の姿をして歩いていてような私はしよつちゅう「神様ナントカ助けて下さい」と頼んでいるが神様はそっぽを向いてい

るらしく大願どころか小願も成就しない。

その証拠に「年末ジャンボ宝くじ」を買って神棚に上げ三拝九拝するが当たったことはない。それでもアレダ、コレダとお願いするから「うるさい奴だ」と洗面を作っているだろう。こうなればこちらも意地である。百に一つ位でもよいから願を叶えてもらいたく毎朝神棚に向かって両手を打ち鳴らす。

その神棚には人にとつては靈驗あらたかであり又牛馬も御加護して下さる御嶽神社と八塩神社のご神符もまつられている。

◎御嶽神社

私が東由利町をよく知らなかった昭和六十年一月二十日付秋田魁新聞に「牛の成育を願ひ参拝」と当神社が紹介されていたが、なんとなく気が引かれて切り抜いておいた。ところが間もなく当町に厄介になる話が出た。そして赴任当

初は西ノ浜（斎藤幸益氏所有宅）にいたが、後には当神社が守護する寺田（小野義信氏管理宅）と下通（現森林組合）に居住し、なんとなく私に因縁を感じさせる神社である。

創建以来約四百六十年の神社の祭神は雅彦彦神であるが、天照大神御嶽山大神、馬頭観音もまつていて特に馬頭観音にはかつては矢鳥、平鹿からも大勢の人が参拝したそうである。

祭日は一月五日である。老方地区を見渡す約二キロのちよつと険しい山参道を寒風に吹かれながら登り、神社と小殿に参拝し、社殿内の大きな囲炉裏で赤々と燃える炭火に手を暖め御神酒を頂いているうちに「ボンデン」が到着する。今は本数が少なくなつたそうだが、その活気は失われていないようで威勢のよい勇み肌の若者衆が雪を蹴散らして「ジョヤサ」の掛け声高らかに五穀豊穰、天下泰平等の願を込めた「ボンデン」を社殿に突入させ奉納する様子は勇壮である。

◎八塩神社

昭和六十年八月十七日の日誌に「天気晴。亀の助さんに同行八塩神社に参拝す。参道急峻なり。石高の樽御輿上がる」と牧場監視員（当時）の小松亀之助さん（石高）に連れられて島居長根を登って神社に参拝していたら高瀬和生改良研究会（石高）の一行が元気な母さんを先頭に「ジョヤサ、ジョヤサ」の声を掛け合いながら樽御輿を担いで前平道より登つたことが記されている。

東由利町の象徴ともいえる約七三メートルの八塩山頂にある神社は千手観音と八塩馬頭観音をまつり畜産の神として農家の信仰厚くその御神符は大抵の畜舎に飾られている。

神社をお守りしている高沢照久さん（葎沢）は神社創建以来約五百年であるが、現在の社殿は四十年位前に改築されているとお話しをしていた。その社殿は長年の山頂の風雪に耐え古びて小さいが一種の風格があり、内部は側面のみならず天井までもいっぱいに参拝者や登山者の落書きがありこれを読むのも一興である。

六月十七日の祭日には高沢照久さんが普段は家に安置している千手観音を高沢清吉さん（葎沢）と一緒に神社までお連れする。参拝者は殆ど常連といつていいほど顔馴染みの人達で神様に参礼した後には社殿の内や外で夫々車座になつて御神酒を酌み交わしながら峻険を登つて来た体を休め四方山話に心をなごませ時には立ち上がった下界を眺め浩然の気を養つ。

私は怪我をし、歩行に自信をなくした昨年は八塩参拝は無理と思つていたところ役場の小松長敬さんと小野長清さんに深山林道経由なら大丈夫だと教えられ同年輩の仲間や老妻と登った。たしかに楽であった。そして下山途中で会つた山菜採りの名人である菊地三治郎さん（上通）から折角とつた沢山の茸を頂戴し同行の人々と膝巾脱ぎをした「赤坂」で料理しても

らい、おいしく頂いたがこれは神様の功德だつたに違いない。

私はそのほかに阿部六平さん（小倉）と千藤朋二さん（中ノ沢）の馬頭観音にお参りしたこともある。

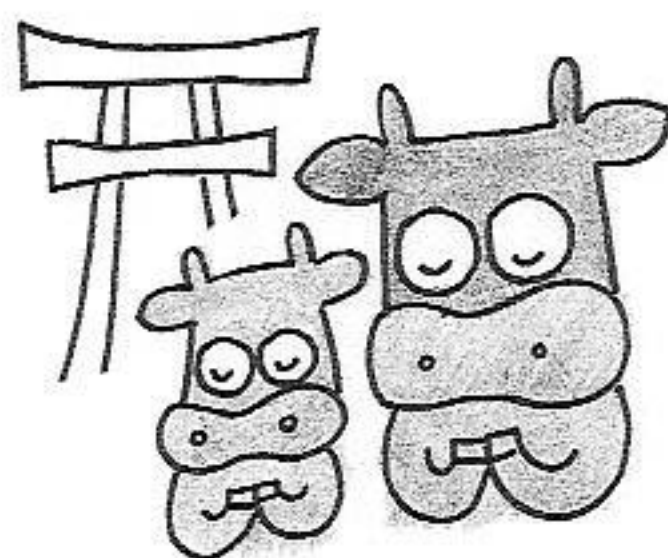
大抵の牛飼いの人々は牛がお産すると神前に燈明と御神酒を供え子牛の出産を感謝し牛の親子の無事を敬虔に祈る。

農林漁業の自然に携わる人々は自然のなかに神様を見つけて畏れ感謝し親しんできた。神を大切にすることは自然や生命を大切にすることではないだろうか・・・。

科学万能の世の中になった。科学の発達はいいことであり、発展させなければならぬ。しかし自然に対して傲慢になつてはいけな

い。科学の名のもとで神を恐れぬ世の中になつたら大変なことだと思つ。

庚辰閏年の平成十二年はすべての人が幸せであるように八百万の神々をお願いするものである。



東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
去勢	45	290kg	446,273	1,462
雌	25	266kg	322,308	1,143
合計	70	282kg	402,000	1,351

●最高金額 去勢 579,600 北国7の8 福谷1 由福
北国7の8 高栄 糸花
●最高金額 雌 491,400 北国7の8 宮桜 安美金

十二月家畜市場

径級	単価（石）	備考
直材30cm上	—	
24～28cm	4,700円	
14～22cm	4,400円	
13cm下	2,400～2,600円	
曲り材	2,000～2,800円	

（平成十一年十二月・平均価格）
四五年生から五五年生
量産工場の手当てが入ったため落札率こそ50%を越したが単価出しは渋く、厳しい製品市況を反映している。また、材の吟味も厳しく、ガニ腐れ等の欠点材は完全に見送られている。

木材共販市況

年の瀬の楽しみ会

東光苑クリスマス会

十二月十五日に、東光苑でクリスマス会が行われました。

当日はまず、永慶、みどり両園児による歌とゆうぎが披露されました。入所者の皆さんはかわいい園児たちのゆうぎを楽しんでいました。午後からは、家族会の皆さんも招待しての食事会。お楽しみ抽選会ではサンタの衣装を身につけた職員が入所者一人一人に贈り物を手渡しました。

また、十二月九日には、東光苑の皆さんへと、お食事処やしおの出張食事サービスがあり、山本総料理長の説明を受けながら、特製料理の数々に舌鼓をうっていました。



▲入所者一人一人にサンタが贈り物



▲クリスマス会で永慶保育園児のゆうぎ



▲12/9にはお食事処やしおの出張食事サービス

今年も無事故を祈願

大平スキー場開き

十二月二十二日、大平スキー場開きが行われ関係者五十余名が期間中の無事故を祈願しました。阿部幸悦町長は「ファミリーゲレンデとして期待に応えられるよう頑張りたい」とあいさつしました。

▲関係者は安全を祈願した

今年の営業計画として①昼間券新設②リフト&入浴セット券新設③ファミリーお食事の割引④シルバースキーヤーの割引などが企画され、お客さんに対するサービスの強化が図られています。お問い合わせは大平スキー場まで。(0269-1338)



自然と歴史を生かす

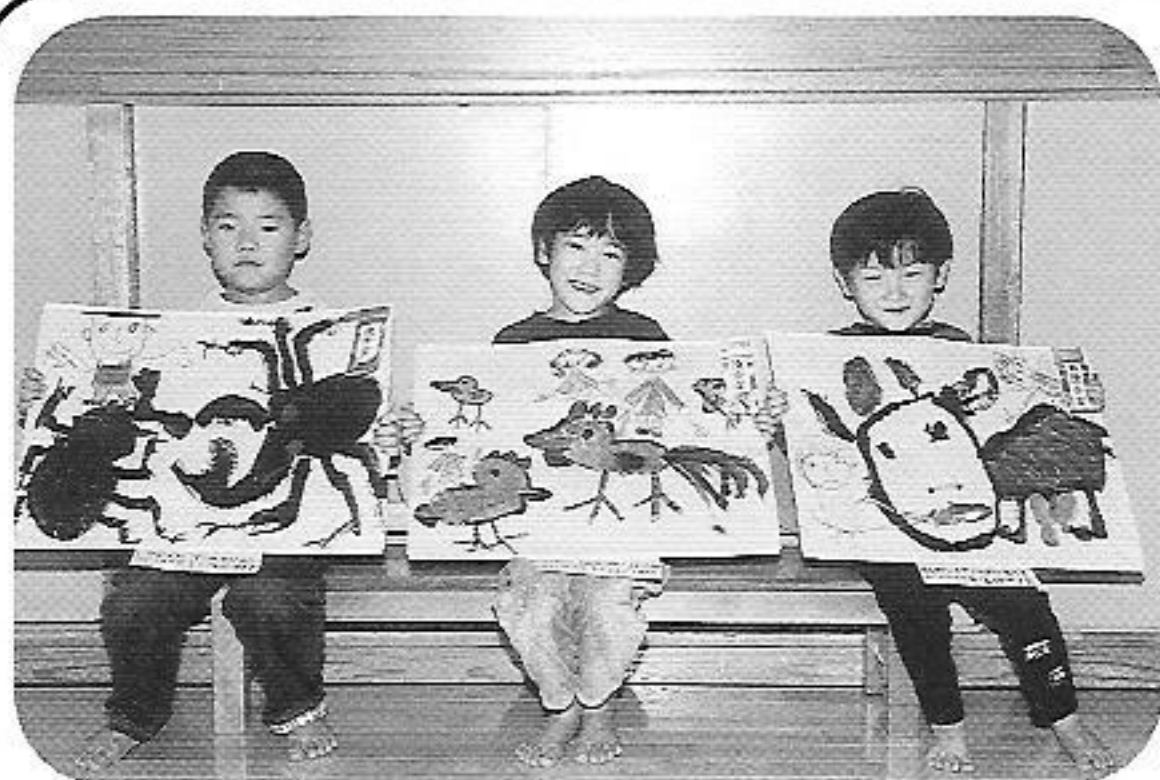
第四回子吉川流域公開講座

「自然と歴史を生かした子吉川流域の町づくり」をテーマに、十二月七日に有鄰館で第四回子吉川流域公開講座が開催され、町内外の皆さん百余名が参加しました。

この講座は子吉川流域四町（鳥海、矢島、由利、東由利）で実施されたもの。締めくくりに本町では「川とむかしのくらし」と題し、小松順之助町教育委員長を講師に「川の悲鳴が聞こえる」という演題の講演が行われました。川にまつわる様々な逸話に参加者は聞き入っていました。



▲小松教育委員長の講演が行われた



▲喜びの和真くん、朱莉さん、遙くん（左から）

体験した喜びを表現

絵画コンクール

県立農業科学館が主催した絵画コンクールでみどり保育園の村上遙くんが最優秀賞を、また優秀賞に同園根田和真くん、遠藤朱莉さんが選ばれました。このコンクールには全県から四百三十八点（幼児の部）もの作品が応募され、うち最優秀賞一点、優秀賞十点が選ばれるもの。

応募作品について「全体的にダイナミックな表現、題材には体験した喜びが素直に表現されている」との審査員講評がありました。念願の最優秀賞受賞ということで、同園での指導が実を結んだようです。



▲谷口圭一さん



▲佐々木輝男さん

永年の勤続、功労に表彰

職業能力開発功労者表彰 交通指導隊員永年勤続者表彰

十月二十九日、県児童会館で開かれた県職業能力開発促進大会で佐々木輝男さん（大琴）が職業能力開発の推進発展に寄与した功績により職業能力開発（認定訓練）功労者として表彰を受けました。

十二月一日には、平成十一年市町村交通指導隊員の永年勤続者として谷口圭一さん（上通）が表彰を受けました。谷口さんは交通指導隊長としての活躍が特に認められました。

永年功績は長い間の努力の成果でもあります。これからもお二人のなお一層の活躍が期待されます。



▲熱心に「八塩そば」を打つ皆さん

そば打ちに挑戦

手打ちそば教室

十二月二十三日、皆瀬村活性化センター経営「かえで庵」のそば職人を講師に迎え、有鄰館で手打ちそば教室が開かれました。町内外、遠くは若美町から三十余名が参加、自分だけの手打ちそばを打ちました。試食では自作そばということもあり格別の味。「おいしい」「自宅で年越しそばに挑戦したい」など好評でした。

このそばは地元農家十七戸が栽培、収穫したソバ粉とボツメキの水を使用した東由利産のそばということで「八塩そば」と名付けられました。



▲全国大会にむけて意気揚々

全国大会をめざして

ゲートボール全国大会予選

十二月五日、雄和町スカイドームで全国選抜ゲートボール大会秋田県予選が行われ、本町チームがシニアの部（六十歳以上）で優勝、県代表に決定しました。

同大会は来年五月岩手県で行われる予選。全県から二十四チームが参加、四チーム毎の予選リーグ選と決勝トーナメントを勝ち進んだもの。「本町からシニアの部には初出場。チーム一丸となって頑張った結果」とのこと。なお、同時にミドルの部で参加した町チームは準優勝でした。

東由利文化クラブ

虫歯
なんてないも〜ん。

1歳半児健診
()内は保護者

佐藤就輝くん
蔵(和広さん)



畠山菜々子ちゃん
中通(知也さん)



小野志織ちゃん
下吹(武志さん)



伊東空真くん
島(賢悟さん)



畠山皓くん
新町(章さん)



大沼千聖ちゃん
蔵新田(聡さん)



小野莉歩ちゃん
館合新田(新一さん)



愛の献血ありがとう

十二月十七日(敬称略)

【秋田ルビコン前】

二〇〇〇

大日向睦子(宮ノ前) 高橋ゆき子
(館合新田) 小松久仁江(家ノ下)
小野里子(本莊市) 阿部早苗(十
二ノ前) 福田栄子(下通) 阿部志
保子(十二ノ前) 守屋富士子(新
町) 榊野寿保子(下小路) 小松五
緒子(五海保) 佐々木幸子(大琴)

高橋敬子(久保) 佐藤恵理子(本
莊市) 嶺石愛子(八日町) 八嶋俊
子(黒沢) 遠藤羊子(小倉) 畑山
千江子(館合新田)

四〇〇〇

高橋由喜江(五海保) 遠藤由美子
(小倉) 遠藤正悦(小倉)

【下郷分校前】

二〇〇〇

古関郁実(横小路) 遠藤友和(五

◆東由利の文芸◆

(せせらぎ句会)

狛犬も孤着て暮れる冬一日
揃ふまで氏子がかこむ大焚火
小春日の海を背に負ひ野外食
背掻かすいとけなき手に冬ぬくし
口車にのって荷の増ゆ年の市
空の色探し冬菊活けにけり
父の忌の茜立つ冬来たりけり
炉火に焼く青き魚の化粧塩
少年にかへる友垣小春風
鯛焼きと太字に冬の店構え

湯出野 佐藤 正義
五海保 嶺石 レイ
下小路 小松 メサ
横小路 宮野源二郎
上里 小野石路子
時雨山 吉川 葉子
高戸屋 小松 敏雄
山崎 小松 良子
横小路 小松 文介
横渡 高橋ヒデ子

冬薔薇鋭き棘に花こぼす
木枯らしが吹いて薔音もなし
初吹雪畑の中の忘れぬ
小春日の馬欄に干されし搾乳衣
初雪へぎより眼をう牛舎窓
わたつみは聞き届けしやはたた漁
花ハッ手日暮れて近き波の音
天気図の混みて山国北下し
小六月猫に小昼の座をとられ
車座の知恵を分け合う日向ぼこ
漆黒の牛に弾けて初霰
鴨鍋に戸締り早き峡一戸

蔵新田 小野 貞子
蔵新田 小笠原トミ
湯出野 小松 徳蔵
船木 大庭孝石衛門
久保 高橋 典三
中通 小松順之助
家ノ下 小松 正昭
蔵新田 小笠原良子
秋田市 嵯峨 義之
蔵 阿部 澄子
舟打場 高橋民治郎
小倉 遠藤トミ子

先月号佐藤正義さんの句「枝」は「技」の誤りです。



アイドルをさがせ!

小野靖佳ちゃん(大琴)
(1歳)

お父さん:良雄さん
お母さん:美和子さん

お話し:美和子さん



「男の子だと思ったのですが、生まれたら女の子だったので驚きました」と美和子さん。「上に男の子が二人いるので活発です」。また、初めての女の子ということで良雄さんがかなり可愛がっているとのこと。笑顔とエクボが特徴のお子さんです。

名前の由来は「心やさしく素直な子どもになるように」と名付けました。

好きなもの、嫌いなものは「食べ物の好き嫌いはないです。子どもが出る番組が大好きです」。

家族でなっている人は「日中面倒をみているおばあちゃん(金子さん)かな」。

将来はどんな子どもに「笑顔を絶やさず丈夫で健康に育ってほしいです。母親としては看護婦さんになってほしい」。

八塩小今年は優秀校

平成十一年県よい歯の学校表彰で八塩小学校が表彰を受けました。

今年五回目のこの事業、小学校は十八校、中学校は三校の応募があり、同小は小学校の部で優秀校の二校に選ばれたもの。

生涯を通じ健康な歯を保つためには連携作業が重要です。学校での指導はもちろん、家庭で、また小松義典歯科医師の指導など地域の皆さんの協力があつたから選ばれたとのこと。今後、同校の取り組みに期待がかかります。

平成11年よい歯の学校表彰



▲八塩小の皆さんと小松義典先生

生徒会役員になって

本荘高校下郷分校二年

遠藤 梓さん



先日生徒会の役員改選があつて、私は書記長を務めることになった。今の時点になつても仕事の内容をほとんど把握してないが、それを全て把握したとしても、きつと満足はしないと思う。

私は最近、生徒会の仕事の内容がマンネリ化してきているのでは

ないかと思つてゐる。具体的なことを詳しくあげることはできないが、ただ言えることは、生徒と生徒会役員とのコミュニケーションがうまくとれていないのではないかと、ということだ。生徒は自分の意見をはっきりと述べているのか。そして本当に生徒会役員は生徒の意見を尊重しているのか。私には何一つ見えてこない。その他のことにも、何かしらの不満を持つ生徒はきつといるのではないかと思う。

□先では簡単に言えることもかもしれない。けれども、もし生徒自身が私の述べたことに共感を抱いてくれるなら、不満を持ってくれるなら、私はそのことを尊重し、今後の生徒会活動にぜひ活かしていきたいと思つてゐる。

賛否両論が多数飛び交う生徒会。それが私の理想である。

町) 阿部弘章(蔵) 小松修一(寺田) 小松和子(山崎) 長谷山節男(船木) 小野信子(上里) 工藤恵(中ノ沢) 小松達也(船木) 畠山楸(袖山)

四〇〇〇〇

小松正二(下小路) 高沢稔(黒淵) 佐藤公男(智者鶴) 高橋和幸(羽後町) 小松雄一(松柴) 遠藤克幸(蔵新田) 小松聖明(須郷田) 小松信記(蔵) 猪股寿和(本荘市) 高橋一心(五海保) 小松喜恒(下通) 佐々木信幸(大琴)

ふるさとむかしむかし

三二

初参りの大足跡

むかしむかし、八塩山のとつべんに山の神を祀つてゐる小さな祠があつたところのこと。日ごろ信心深い八日町の藤左エ門さんは、正月の初参りはきまつて八塩山に登り山の神を詣でるのでした。そして毎年一番のりで初参りするのを習わしにしておりました。

その年の正月は、雪も多く、吹きつける風は吹雪となり、軒端のかこいを真白にしているのでした。夜来から初参りの身支度をしている藤左エ門さんは、「このごろない正月の空だなあ・・・」と心配そうにつぶやきながら、カンジキを肩に家を出ました。深山の麓から山に入るころは、向う先見え

ないほどの荒れ吹雪となり山の樹がザザッと倒れるような音がするのでした。

山の中ほどまで、こぐように登つてきた藤左エ門さんは、吹雪の止むまでと大きな樺の木の間もとでひと息休むことにしました。しばらくすると、どうやら吹雪も止んだ様子です。樹々をぬって山登りの藤左エ門さんですが、吹雪のせいなのか、すっかり方角がわからず道に迷つてしまいました。

途方にくれた藤左エ門さんは、夢中で山に登るのですが、あせりと疲れで汗びっしょりになり、不安がだんだんつのつてくるのでした。

そんなとき、ふと峰の方に目をやると、不思議なことに雪の上に大きな大きな足跡がのっしのつしと、今歩いたようについているのでした。藤左エ門さんは「はて誰だろう。私の前に初参りに登ったのは・・・」と首をひねりながら導くようなその大きな足跡を頼りに登っていき

ました。

山のとつべん近くまで大きな足跡をたどつて来た藤左



エ門さんは「ああ、ここまで来るともう大丈夫・・・」ひと安心をし、大きな足跡に感謝しながら、雪の上を見てびっくりするのでした。なんと、その大きな足跡はそこでぶつちりと消えていきました。不思議なこともあるものよと思ひながら祠に向い、お灯明をあげました。小さな祠の中でお灯明の明かりがほんのりと照らして

新しい年の無事をお祈りし、下山する藤左エ門さんは、吹雪で迷つたとき、雪の上の大きな足跡は、きつと山の神さまが助けに来てくれたのに違いないと思うのでした。

麓に下りた藤左エ門さんは、山に向いそつと手を合わせるのでした。

(文と絵 石渡力造氏)

1月▶データ東由利

〈11/1～/30〉

住民基本台帳人口 ()は前月比

- 男.....2,523人 (+3)
- 女.....2,656人 (±0)
- 計.....5,179人 (+3)
- 世帯数.....1,391戸 (+2)

()は1月からの累計

- ・出生2人(29)・死亡7人(61)
- ・転入14人(81)・転出6人(104)

- 火災出動.....1件(7)
- 救急出動.....11件(126)
- 交通事故.....1件(6)
 - ・死亡.....0人(1)
 - ・傷者.....1人(6)
- 飲酒運転(町内)0人(1)
 - 〃(町外)2人(12)

1月の行事予定

- 1 元日
- 4 御用始め
- 4 新春町政座談会 宿分館
(高瀬館1:30～)
- 5 新春町政座談会 法内分館
(克雪管理センター9:30～)
- 5 新春町政座談会 住吉分館
(住吉会館1:30～)
- 6 消防出初式
- 7 新春町政座談会 蔵分館
(大蔵館9:30～)
- 7 新春町政座談会 玉米分館
(玉米会館1:30～)
- 8 新春町政座談会 老方分館
(老方館9:30～)
- 8 新春町政座談会 袖山分館
(袖山館1:30～)
- 10 成人の日

ほっとひといき!

今年最初の広報です。取材等でお世話になるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

今回の表紙、辰年の皆さんが集合、華やかな雰囲気になったのではと思うのですがいかがだったでしょうか。協力してくださった皆さんに感謝いたします。

さて、暗い話題が続きましたが、悲観的にならないようにしたいものです。明るい未来をイメージすることで、未来は変わります。二十世紀最後の一年、有意義に過ごしたいものですね。(さ)

東由利

郷土の野草

NO.179

ヒツジグサ

(スイレノ科)

文・写真 小松忠正氏



スイレノともいい、沼や池に生える多年生の水草です。(写真・横渡の沼)葉は広楕円形で、少し光沢があつて一部が矢じりのように欠けたものを多数水面に出します。六月から九月、長い花柄に五から七センチの白色の花をつけます。花弁は八から十二くらいです。

和名は羊草で、開花時刻が羊の刻(午後二時頃)なのでこのようにいわれますが、二時でなくても開きます。

最近では在来種よりも形も色も美しい熱帯産ヒツジグサが目につくようになり、在来種は少なくなりました。

戸籍の窓口

(11月21日～12月20日届出)

●お誕生おめでとう

12/12 安倍 晶 さん (留正) 家ノ下

12/1 長谷山 新也 さん (新美) 地ノ沢

12/3 小野 政利 さん (正志) 袖山

12/10 小松 知生 さん (寿美子) 宇戸坂

●ご結婚おめでとう

12/14 小松 浩二 さん (高戸屋)

12/14 菊地 結香 さん (新西)

12/14 小松 真智子 さん (柴町)

●ごめい福をお祈りいたします

12/22 小笠原克志 さん (59) 木島力子・兄・大琴

11/24 菊地 ミヨ さん (85) 義一・母・山崎

12/1 伊東 高雄 さん (80) 和雄・父・小倉

12/1 太田シケノ さん (89) 久隆・父・新町

12/5 菊地 トシ さん (76) 時雄・母・宇戸坂

12/12 小野マツミ さん (87) ヒデ子・夫の母・宿

12/15 高橋 忠雄 さん (77) サヨ・夫・新町

サンタフェスティバル99 年に一度の贈り物



▲モックさんは子どもたちの人気もの

タフエスティバルの会主催によるサンタフェスティバルが十二月二十三日に道の駅を会場に行われ、たくさんの子供たちが賑わいました。

サンタさん役のジョン・モックさん(54)は、ミネソタ州立大学秋田校の教授で雄和町在住のアメリカ人。外国人学生らと共に毎年雪上野球大会にも参加している東由利通で、撮影会やプレゼントのプログラムで大活躍しました。

モックさんは、雄和町の幼稚園など数カ所にも自前の衣装で訪問して「子供は喜んでもらえてうれし。サンタは国境や人種を越えた存在。子供に夢を与えるお手伝いを続けたらいい。また、大学では県内の町や村の過疎問題などを研究しており「東由利町のために、語学や異文化理解の学習など、他にも何かお役に立てれば」と話していました。

今月の一枚



八塩小学校 祖父母学級で